



幸手市議会議員
本田ようこ

〒340-0164
幸手市香日向 3-10-16
TEL: 080-5137-4539

— 緊急臨時号 —

幸せの手

8月24日 市議会議長・副議長に 全員協議会開催を申し出、しかし「拒否」

内容は下記の通りです。

以下の事について議員全員協議会で協議を行う事の申し入れをしました。



〈議会広報紙について〉

1. 議会広報紙の紙面が大きく変わりましたが、議員全員に知らせることなく発行していた。変更する場合、全議員に周知すべきと思うがいかがか。
2. 今までの右綴じをあえて左綴じとしているが、一般質問が縦書きである以上右綴じとすべきではないか。左綴じとするなら一般質問も横書きにすべき。また、「一般質問」のタイトル位置に違和感がある。
3. 表紙に子ども個人の顔がわかる写真を用いているが、肖像権は保護者や個人にあるもので学校にはない（関係者は学校の了解を得たとしている）。明確な配慮が必要ではなかったか。
4. 議員の集合写真に AI 加工画像を採用した意味が不明である。公費でつくられる議会広報紙に AI 加工画像を採用する意味をどのように市民に説明するのか。
5. 議会だよりの視察計画が 3 月議会の議決を得ないで提案された問題について。

〈議員の政務活動費について〉

1. 自分の活動報告に後援会名を掲載することが問題となっているようだが、公認された政党はどうするのか、議論が必要。
2. 後援会が政治団体として選挙管理委員会に届け出を行っているのであれば、政治団体とみなすべきと考える。
3. 政務活動費は、後援会経由で支払われていなく、議員が直に自己の政務活動費から支払われている。領収書で確認。

4. 政務活動費については、すでに議長（議会事務局長）決裁されているものであり、今更問題とするのは議長としての責任が問われるのではないか。
5. 政務活動費の使途について。例えば一般紙購入、視察先のお土産代等の是非。

〈お祭り等の寄付行為について〉

幸手市内のお祭りに青木章議長の親族の芳名で 4 万円寄付と掲載されていた。このお祭りについては、議長名を冠する企業名の寄付が公職選挙法に抵触すると新聞報道された経緯がある。今回の寄付額は問題となった過去 2 年間の 4 万円寄付額と同額であり、市民から疑問の声がある。幸手市議会議員政治倫理条例に基づき、審査されることを要望する声も寄せられている。このことについて、議員全員協議会で協議をしていただきたい。

以上議会開会中全議員が出席出来る日に議員全員協議会を開催して協議される事を求めます。

2026 年 8 月 24 日 幸手市議会議員 小林 英雄
幸手市議会議員 枝久保 喜八郎
幸手市議会議員 本田 謡子
幸手市議会議員 大平 泰二
(議員議席順)

結果は。。。――

9 月 10 日、申し入れの返答は、
「2 人（議長・副議長）で協議し、
そぐわないから開催しない」とのこと。

＝ 市民の皆様はどう思われますか？ ＝

このおもて面で示した通り、議会広報紙と議員の政務活動費については、議員全員で協議する**議員全員協議会**開催が必要です。



しかし、この問題を「**そぐわない**」と返答しました。それも議長・副議長の2人の協議で開催しないことを決めたとのこと。(会派代表者会議等にもかけず独断的)

幸手市議会基本条例

第2章 議会及び議員の活動原則

第4条 議員は議会が言論の府であること及び合議制の機関であることを十分に認識し、議員間での自由討議により、議論を尽くすよう努めるものとする。

議会の採決は多数決で決まります。

しかし、その前に全員での協議等が必要不可欠です。



現在の幸手市議会は全員の協議が少なく、議員間討議もなく、その多数の議員で進められていること、これが問題です！

■ 以前、幸せの手で書いた広報編集委員会の視察研修！

予算が確定する前に全て決まっていた視察研修。(詳細についても予算が認定される議会最終日に多数議員以外の私は知りました。)

近隣でも十分視察に値する(受賞している)市町はあります。

■ 議会だよりの刷新！

多数議員以外の私は刷新した議会だよりのすら知らされていなかったこと。市民のみなさんの見やすい議会だよりになっていますか？

■ 本年度の3常任委員会合同視察研修2泊3日

各常任委員会でも2泊3日ではなく1泊2日で行けるのではないかと意見を言うが取り扱ってもらえなかった。

■ 議会での防災訓練！

議場での防災訓練は多数議員以外の私は説明も受けていません。以前から全員に説明をと事務局長へ申し出ても、多数議員以外の議員達には説明もありませんでした。



これが防災訓練でしょうか？

議場でのシェイクアウト防災訓練と避難経路確認。本庁舎で一番危ない議場にヘルメットを置いていたのは、ご覧の通り、本田だけです。備えよ常に！

シェイクアウト訓練は、地震が起きた瞬間に自分の身を守る防災訓練で、その場で安全行動をとります。

● 低くする ● 頭を守る ● 動かない



シェイクアウト防災

本田は思う・・・

幸手市議会を牽引する多数議員のかたまりが、市民と違う方向を向き、自分たち中心の方向で舵をとると、このような現状になってしまうのではないのでしょうか。

議長は公平公正で、全議員の取りまとめ役。ご自分で旗を振り、議長が率いる多数議員以外は無視なんて、あっていいものでしょうか。

以前の宮杉議長は、双方の話をちゃんと聞いて取りまとめていました。

次の枝久保議長も、全議員に全員協議会を呼びかけていました。しかし全会一致でなければ決められないとの主張に、最初から参加拒否の多数議員の一部の方々。大変苦勞なさいました。その方々が、今度は多数議員以外は無視。

こんな議会でいいのでしょうか。

市民の皆様に関心かけたいです。

そこにいるのは、皆様が大切な一票を投じた議員達です。